

2019年（令和元年）10月入学
2020年（令和2年）4月入学
学生募集要項

October 2019/April 2020 Admission Information

**大学院博士後期課程
共同サステイナビリティ研究専攻
Joint Doctoral Program for Sustainability Research**

東京外国語大学

Tokyo University of Foreign Studies (TUFS)
Graduate School of Global Studies

東京農工大学

Tokyo University of Agriculture and Technology (TUAT)
Graduate School of Engineering

電気通信大学

The University of Electro-Communications (UEC)
Graduate School of Informatics and Engineering

目 次

• 入学者選抜の概要	1
• 本専攻が求める学生像（アドミッション・ポリシー）	1
1. 募集人員	2
2. 出願資格	2
3. 出願手続	3
4. 入学者選抜方法	5
5. 入学手続	6
6. 国費外国人留学生特別選抜制度	6
7. 社会人の授業及び研究指導について	6
8. 障害等のある入学志願者の事前相談	6
9. 個人情報の利用について	7
10. 注意事項等	7
11. 指導教員について	8
• Admission Information (ENGLISH)	11

添付書類

- (1) 入学志願票
- (2) あて名票
- (3) 受験票・写真票
- (4) 出願資格認定申請書
- (5) 出願資格認定審査調書

【問い合わせ及び出願先】

○東京外国語大学
学務部入試課入学試験係
〒183-8534 東京都府中市朝日町 3-11-1 TEL 042-330-5179

○東京農工大学
小金井地区事務部学生支援室入学試験係
〒184-8588 東京都小金井市中町 2-24-16 TEL 042-388-7014

○電気通信大学
学務部入試課大学院入試係
〒182-8585 東京都調布市調布ヶ丘 1-5-1 TEL 042-443-5102

入学者選抜の概要

本専攻は、東京外国語大学、東京農工大学、電気通信大学の連携共同によって、それぞれの大学に設置する標準修業年限3年の大学院博士課程です。

入学定員は、11名（東京外国語大学3名、東京農工大学4名、電気通信大学4名）で、東京外国語大学、東京農工大学、電気通信大学の博士前期課程又は修士課程を修了した方はもちろんのこと、他分野の修士課程修了者や、職場で実務に携わっている社会人並びに外国人留学生等を広く受け入れます。

本専攻の受験を希望する方は、3大学のうち、主任指導を希望する教員が所属する大学に出願して下さい。入学後は3大学の教員が協働してあなたの指導にあたります。

入学時期は4月入学と10月入学の2種類あり、併願も可能ですが、大学によって出願時期が異なりますので、ご注意ください。

本専攻が求める学生像（アドミッション・ポリシー）

共同サステナビリティ研究専攻の養成する人材像及び教育課程での学修において求められる資質、素養、能力等は、以下のとおりです。

- 貧困、紛争、食料・資源、エネルギー・環境、情報・ICTなどの地球規模の課題の解決に貢献したいという熱意を持ち、将来、国際社会の現場で活躍したいという意欲がある。
- 学際的・分野横断的な研究を行いうる柔軟かつ論理的な思考力と、研究遂行に必要な基礎的学識、専門性、語学力を有している。
- 多文化や多様な価値観を受容できる寛容さをもって文化や価値観が異なる環境に適切に対応できる適応力を有し、そうした環境においても自身の専門性を駆使しながら、広範な視野と高い倫理観をもって能動的に行動できるタフな精神力と実行力を備えている。

1. 募集人員

共同サステナビリティ研究専攻	入学定員	募集人員	
		2019年 10月入学	2020年 4月入学
東京外国語大学	3名	1名	2名
東京農工大学	4名	2名	2名
電気通信大学	4名	2名	2名

2. 出願資格

以下のいずれかに該当する方。

- (1) 修士の学位や専門職学位を有する者
- (2) 外国において、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者
- (3) 外国の学校が行う通信教育を我が国において履修し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者
- (4) 我が国において、外国の大学院相当として指定した外国の学校の課程（文部科学大臣指定外国大学（大学院相当）日本校）を修了し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- (6) 大学等を卒業し、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、大学院において、修士の学位を有する者と同等の学力があると認められた者
- (7) 大学院において個別の入学資格審査により認められた24歳以上の者

※(1)～(5)については、入学する月（4月又は10月）の前までに学位を取得する見込みである者を含みます。

※医学・歯学・薬学・獣医学に係る6年制の学部を卒業したことのみをもって、これを修士課程相当とし、博士課程の入学資格が認められるわけではありません。

※出願資格認定審査

出願資格(6)、(7)により出願を希望する場合は、出願前に認定審査を行いますので、出願期間初日の少なくとも一ヶ月前までに、希望する大学の入試担当に必要書類を提出して下さい。審査の結果、出願を認められた場合のみ、出願が可能となります。

【出願資格認定審査に必要な書類】

- ①出願資格認定申請書(所定用紙)
- ②入学試験出願資格認定審査調書(所定用紙)
- ③最終学歴の卒業(修了)証明書及び成績証明書
- ④志願者の研究業績が分かるもの
 - ・出願資格(6)の者について
学術論文、研究報告、特許等研究上の成果物
 - ・出願資格(7)の者について
修士論文に相当する成果物

※場合により、①～④以外の物を追加で求める事があります。

3. 出願手続

志願者は、3大学のうち、主任指導を希望する教員が所属する大学に、出願書類を一括して指定の期日までに提出して下さい。

出願書類が受理された者に対して受験票を交付します。

(1) 出願期間

	2019年10月入学	2020年4月入学
東京外国語大学	2019年3月1日～5月10日	2019年11月18日～11月21日
東京農工大学	2019年7月16日～7月19日	【第1期】2019年7月16日～7月19日 【第2期】2019年12月2日～12月6日 【第3期】2020年2月26日～2月28日
電気通信大学	2019年7月22日～7月26日	【第1期】2019年7月22日～7月26日 【第2期】2020年1月7日～1月10日

【郵送により出願書類を提出する場合】

封筒に「大学院博士後期課程出願書類在中」と朱書きし、志望する大学の出願期間中に必着するよう簡易書留で郵送して下さい。各大学の提出先住所は、目次の下段を参照して下さい。

【入試担当窓口で提出する場合】

出願期間中に、志望する大学の入試担当に提出して下さい。

なお、各大学の窓口受付時間は平日（月～金）の次の時間です。

- ・東京外国語大学 9時～12時、13時～16時
- ・東京農工大学 8時30分～12時、13時～17時15分
- ・電気通信大学 10時～11時30分、13時30分～17時

(2) 出願書類等

区 分	注意事項
入学志願票 (所定用紙)	写真は、縦4cm×横3cmの大きさと、上半身・正面・無帽・出願日前3か月以内に撮影したものを貼って下さい。
受験票・写真票 (所定用紙)	
修了(見込)証明書	出身大学長(研究科長)名で発行された、大学院博士前期(修士)課程のものを提出して下さい。
成績証明書	日本語又は英語以外の言語で作成された証明書は、日本語又は英語訳を添付して下さい。
検定料 【30,000円】 ※振込手数料は 本人負担です	志望する大学の指定口座に振り込み、支払証明書またはレシートを提出して下さい。 なお、以下の方は、検定料を免除しますので、振り込まないで下さい。 (1)国費外国人留学生の方 (2)2020年3(2019年9)月に、3大学いずれかの大学院の博士前期(修士)課程または専門職学位課程を修了見込みの方が、同じ大学の2020年4(2019年10)月入学の試験を受験する場合 【振込先】

	<p>○東京外国語大学 三井住友銀行 東京第一支店 普通 9796093 □座名義 トウキョウガイコクゴダイガク ※海外の方で日本円での送金が難しい場合には、米ドルで送金して下さい。検定料と同額が大学に着金するようにして下さい。 -----</p> <p>○東京農工大学 三菱UFJ銀行 本店 普通 7851722 □座名義 トウキョウノウコウダイガク ※東京農工大学へお振り込みされる場合には、ご自分のお名前の前に「SUS」を付けて下さい。 例：山田太郎さんが受験する場合は振込人名義を「SUSヤマダタロウ」として下さい。 ※海外からの送金は、事前に入試担当にご相談下さい。 -----</p> <p>○電気通信大学 三菱UFJ銀行 本店 普通 7882772 □座名義 デンキツウシンダイガク ※海外からの送金は、事前に入試担当にご相談下さい。</p>
あて名票 (所定用紙)	合格通知書等を受け取る住所（日本国内）を記入して下さい。
受験票返送用封筒	(郵送による志願者のみ提出して下さい) 定型（長形3号）封筒を用意し、大学からの通知を確実に受け取れる日本国内の住所と氏名を明記し、392円分の切手を貼って下さい。（簡易書留郵便で受験票を送付します。）
英語外部試験の成績表	英語能力を確認するため、母語/教育言語が英語以外の方は、以下のいずれかの成績表（合格証明）を提出して下さい。コピーしたもので構いません。なお、3年以内（2016年4月以降）に受験したものに限り、（※母語/教育言語が英語であるかどうか判断に迷う方は、出願する大学の入試担当にお問い合わせください。） TOEIC、TOEFL、Cambridge English、IELTS など
志望理由書 (5部)	A4用紙を使用して1,000字（英語の場合は250Words）程度にまとめたものを5部提出して下さい。 志望する専攻名、研究テーマ及び氏名を記した表紙を付けて下さい。
研究計画書 (5部)	A4用紙を使用して2,000字（英語の場合は500Words）程度にまとめたものを5部提出して下さい。（原本1部とコピーしたもの4部） 志望する専攻名、研究テーマ及び氏名を記した表紙を付けて下さい。
修士論文等の要旨 (5部)	修士論文またはそれに準ずる研究成果若しくは業務実績の要旨を、研究計画書と同じ要領で5部提出して下さい。

※出願にあたっては、主任指導を希望する教員に事前に連絡を取って下さい。

※官公庁・会社・学校等に在職のまま入学する方は、所属長の発行する入学承諾書(様式任意)を「入学手続き時」に提出して頂きますので、ご承知おき下さい。

※外国人の方は、在留資格を確認するために、パスポートの写し(日本在住の方は在留カードの写し)を「入学手続き時」に提出して頂きますので、ご承知おき下さい。

4. 入学者選抜方法

提出書類と口述試験(面接)により選抜します。

(1) 口述試験(面接)実施日

	2019年10月入学	2020年4月入学
東京外国語大学	2019年6月中旬	2020年1月25日又は1月26日
東京農工大学	2019年8月19日※	【第1期】2019年8月19日※ 【第2期】2019年12月17日 【第3期】2020年3月10日
電気通信大学	2019年8月19日※	【第1期】2019年8月19日※ 【第2期】2020年2月3日

※8/19の口述試験(面接)は、東京農工大学または電気通信大学のどちらかの大学のキャンパスで合同試験となる場合があります。

試験の開始時間・集合時間については別途指示します。

口述試験では、これまでの研究内容や今後の研究計画について、英語で15分程度の発表(プレゼンテーション)をして頂きますので、パワーポイント等で作成した発表資料(英語版)を印刷した物を5部持参して下さい。

その後、提出された志望理由書、研究計画書、論文等も踏まえた質疑応答を、英語と日本語で行います。

発表では、ノートパソコンやタブレット端末を使用する事が出来ませんが、受験生が持参して下さい。プロジェクター、スクリーン、一般的な接続ケーブル(HDMI、D-sub15ピン)は大学が用意します。

(2) 合格発表

各大学の掲示板及びホームページにおいて発表します。

合格者には合格通知書を「あて名票」により郵送します。

	2019年10月入学	2020年4月入学
東京外国語大学	2019年6月下旬	2020年2月14日
東京農工大学	2019年9月6日	【第1期】2019年9月6日 【第2期】2020年1月20日 【第3期】2020年3月20日
電気通信大学	2019年9月10日	【第1期】2019年9月10日 【第2期】2020年2月26日

5. 入学手続

(1) 入学手続期間

この期間内に入学手続きを完了しない場合は、入学辞退者として取り扱うので注意して下さい。

	2019年10月入学	2020年4月入学
東京外国語大学	2019年7月下旬	2020年3月26日～3月27日
東京農工大学	2019年9月12日	【第1期】2020年3月16日 【第2期】2020年3月16日 【第3期】2020年3月27日
電気通信大学	2019年9月24日	2020年3月26日～3月27日

(2) 入学に要する費用等

入学料 282,000円

ただし、国費外国人留学生の方は入学料の納付が不要です。

また、2020年3（2019年9）月に、3大学いずれかの大学院の博士前期（修士）課程を修了見込みの方が、2020年4（2019年10）月入学の試験により、同じ大学の大学院博士後期課程に入学する場合も、入学料の納付が不要です。

入学手続きに必要な提出書類及び提出方法については、合格者にあらためて通知します。

授業料は、年額535,800円です。ただし、入学後国費留学生となる方は納入不要です。

入学時または在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料を適用します。

入学時には、上記入学料等のほか、学生教育研究災害傷害保険料等の諸経費が必要になります。

6. 国費外国人留学生特別選抜制度

外国に在住している国費外国人留学生（この件についてのみ、申請中の者も含みます）で、受験のための来日が困難な場合は、口述試験を、インターネットを利用した会話システムで行うことができます。

口述試験は、英語で質疑を行います。

入学手続期間中に入学の意思を示す確約書が提出された場合、入学手続期間の延長に配慮します。

7. 社会人の授業及び研究指導について

(1) 修業年限

本専攻の標準修業年限は3年ですが、社会人が学びやすい環境を整備するため、標準修業年限の2倍の年数を超えない範囲で、長期にわたり計画的な履修を可能とする長期履修制度が利用できます。

(2) 履修指導及び研究指導の方法

教育上必要と認められる場合には、「大学院設置基準第14条に基づく教育方法の特例」を適用し、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行います。

8. 障害等のある入学志願者の事前相談

学校教育法施行令第22条の3に定める障害等のある志願者又は発達障害のある志願者で、その障害等の程度に応じ、受験上及び修学上の特別な配慮を必要とする方は、出願前に各大学の入試担当に相談して下さい。

9. 個人情報の利用について

出願にあたり提供された氏名、住所、電話番号及び入学者選抜の成績等の個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び各大学の個人情報保護に関する規程に基づき、次のとおり取り扱います。

- 出願者の情報は、入学者選抜、合格発表及び入学手続業務に利用します。
- 入学者の情報は、教務関係(学籍簿の作成等)、学生支援関係及び授業料徴収に関する業務に利用します。
- 入学者選抜に用いた試験成績等の情報は、入試結果の集計・分析及び入学者選抜方法の調査・研究のために利用します。

10. 注意事項等

- (1) 出願手続完了後は、検定料の払い戻しや提出書類の返却は行いません。
- (2) 提出書類に偽りの記載又は隠した事実があったときは、入学後といえども入学を取り消すことがあります。
- (3) 入学手続を完了した方が入学を辞退する場合は、入学する月の前月末日（土日祝日の場合はその前の平日）までに、入学辞退届を入学手続きをした大学の入試担当へ提出しなければなりません。入学辞退届を提出しない場合には、4月以降学籍が作られ、授業料納付の義務が発生する等の問題が生じるので、早めに届け出て下さい。
- (4) 入学手続期間終了後、全体の募集人員に欠員が生じた場合には、追加合格又は追加募集を行う場合があります。

11. 指導教員について

本専攻で指導を担当する教員は次のとおりです。主任指導を希望する教員が所属する大学に出願して下さい。

東京外国語大学		
主要教育 研究分野	担当教員名	研究内容
地域動態論	武内 進一 <i>shinichi_takeuchi</i> <i>@tufs.ac.jp</i>	担当教員自身はアフリカ研究、特に政治、開発、紛争と平和構築といったテーマを専門とするが、本専攻の講義や演習では、世界各地域で生起する諸問題を体系的な手法に沿って考察するために、国際政治学、比較政治学、社会人類学などの方法論や、個別具体的な場所の特質を数量的データから理解する方法などを学ぶ。「持続可能な開発」「国家建設」「紛争解決」「平和構築」といったトピックが中心課題となるが、これらは、今日的なグローバル 이슈に対応している。国際的な場面での具体的なハードケースを学ぶなかで、適切な判断力の涵養を目指す。
グローバル スタディーズ	中山 智香子 <i>nakac</i> <i>@tufs.ac.jp</i>	担当教員自身は経済・社会思想、特に20世紀以降のドイツ語圏のそれを専門とするが、それは思想界でもグローバル化の進展を視野に、政治・経済・社会の相互関係や、社会と科学の関わりが問われた時代であった。本専攻の講義や演習ではグローバルスタディーズにおいて、社会科学や人文知を柔軟に援用して科学の基盤を問い、人間とグローバル世界の経済を、国家と国際関係、国を超えた地域（EU, AU 等）やコミュニティ、NGO など多様なアクターと構造から考察する。SDGs を研究上の指標、研究目的として重視し、多様で自発的かつ持続可能な発展の理論的、思想的基盤を培う。
カルチュラル・ スタディーズ	李 孝徳 <i>hdlee</i> <i>@tufs.ac.jp</i>	担当教員自身は文化研究、特にレイシズム、ポストコロニアリズム、表象文化を専門とする。本専攻の講義や演習では、世界各地域で生起する諸問題を体系的な手法に沿って考察するために、文化やメディアの政治学、ジェンダー・人種・階級についての関係論などの方法論を学ぶ。移民、難民、亡命者などの「他者」の権利に関わる諸問題が中心課題となるが、これらは、今日的なグローバル 이슈に対応している。国際的な場面での具体的なハードケースを学ぶなかで、現代における人権にあり方について理解を深める。

東京農工大学		
主要教育 研究分野	担当教員名	研究内容
生体医用システム	三 沢 和 彦 <i>kmisawa</i> <i>@cc.tuat.ac.jp</i>	現在、人々が健康で安全な生活を送るために、生活の質的向上、在宅医療、福祉などの高度な診断/医療の進歩と革新に対する需要が年々高まってきている。最新の先端的な診断と医療は、エレクトロニクスや情報などの工学技術と、生物学や医学とが緊密に協働すること無くしては語ることができない。本研究室では、生体医用システムを対象に、「超高速光科学」に基づく基礎研究から実用化研究、実用化へと至るシームレスな研究開発を行なっている。これにより、次世代の高品質な診断/医療を創出し、新しい産業分野の創生につなげる。
エネルギー科学	香 取 浩 子 <i>h-katori</i> <i>@cc.tuat.ac.jp</i>	エネルギー資源の確保・環境保全などの複雑化した課題に対しては、工学分野単独ではなく、多様な分野を融合・統合した総合的な学問分野からの探求が必要である。また、新産業創出につながる新たな技術を提案するためには、これらの複雑な問題を要素ごとに細分化し(システムズアプローチ)、幅広い視点で捉える必要がある。磁性体の相転移の機構を明らかにする研究手法は、エネルギーに関連する複雑な問題を解決する手法と類似している。そこで、持続発展可能な社会を実現するために、この磁気相転移の研究から学んだ研究手法をエネルギー問題に適用し、「新しい原理によるエネルギー問題解決手法の提案」「新たな手法によるエネルギー変換技術の実現」「エネルギーや環境に配慮した新しい生産プロセスの開発」などの課題に取り組む。
国際農業開発	干 年 篤 <i>chitose</i> <i>@cc.tuat.ac.jp</i>	発展途上国の経済発展、食料安全保障の強化、さらに貧困問題の解決には、農業の発展が重要な役割を果たす。農業発展に向けた実践的な解決策を立案するには、発展途上国の農業・農村が現在、抱えている諸問題及びそれらを取り巻く自然生態的条件、歴史・制度的条件、社会経済的条件などに関する確かな理解が不可欠になる。このような現代社会のニーズに応えるため、食料問題、貧困問題、経済問題、環境問題、資源・エネルギー問題が互いに密接に係り合っている点に念頭に置き、経済学的アプローチから、発展途上国農業・農村の現状と課題及びその背景にある関連主体の経済的・社会的行動を探究する。
生物資源機能化学	野 村 義 宏 <i>ny318</i> <i>@cc.tuat.ac.jp</i>	農業の発展、農業者の所得増大には、農産物のもつ機能成分を利活用して新たな商品を開発し、その素材として農産物を供給するという高付加価値化戦略が、今後ますます重要になる。さらに、廃棄されていた未利用部位の有効利用の促進も求められる。こうした開発戦略は、生物資源を多数保有している途上国においてこそ、効果的に作用する可能性が高い。このような現代社会のニーズに応えるため、化学的又は生物学的アプローチにより、未利用生物資源の新規用途開発及び生物資源の再生利用に関する先端的かつ実践的な研究を行う。未利用生物資源の有効な利活用を目指し、国内外の様々な農林水産資源の機能成分の分析及び社会実装化のための課題の抽出と解決に取り組む。

電気通信大学		
主要教育 研究分野	担当教員名	研 究 内 容
社会システム工学	山本 佳世子 <i>kayoko.yamamoto</i> <i>@uec.ac.jp</i>	豊かで安心な社会の創造と継続がグローバルな目標であり、地球規模での資源開発、異常気象や災害などの自然環境問題の解決が、先進国、発展途上国を問わず喫緊の課題となっている。このような現代社会のニーズに応えるため、多様な情報の利活用方法を習得し、上記の課題を解決するための社会システム的设计に関する研究に取り組む。そのためには、G空間情報などの多様なビッグデータの解析、数理モデル、アルゴリズム、コンピュータ技術、調査結果を分析するために必要不可欠な統計的手法を学修する。このような新しい取り組みにより、実世界での安全性を継続的に確保するために地球規模での問題を解決し、高信頼で安全な社会の実現に貢献することを旨とする。
情報・通信工学	橋山 智訓 <i>hashiyama.tomonori</i> <i>@uec.ac.jp</i>	高齢化社会、発展途上国など経済発展、資源開発、健康福祉などのグローバル社会の抱える課題を情報・通信・ネットワーク技術（ICT）により解決することが期待されている。このような現代社会のニーズに応えるため、情報・通信・ネットワーク・メディア処理・ヒューマンマシンインタラクションや、これらを支える数理情報解析技術・機械学習・人工知能技術・コンピュータ・電気電子システム技術など、高度コミュニケーション社会の基盤となる情報・通信・ネットワーク技術に関する研究に取り組む。高い信頼性と安定性を持つ情報ネットワークの構築を通じて人々に豊かさをもたらし、超スマート社会実現への貢献を目指す。
計測・制御	横井 浩史 <i>yokoi</i> <i>@mce.uec.ac.jp</i>	世界各地でグローバル社会の高齢化や貧困に伴う問題を解決し、快適な生活を支援する取り組みが必要とされている。 交通、航空宇宙、医療などの多様な分野で機器の自動化・高機能化が進行し、特に計測・制御技術に基づくメカトロニクス、生体及び医用工学は急速に発展している。計測・制御は横断型工学であり、その対象をシステムとして把握することが不可欠である。 以上の現代社会のニーズに応えるため、計測・制御を基盤に、感覚・知覚や運動などの人間の特性や機能を体系的に理解したうえで、メカトロニクス、生体及び医用工学に関する研究に取り組む。 今後、ロボットと人間のさらなる調和を図り、高齢者や障害を持つ人々の生活環境の改善・支援への貢献を目指す。
光工学	岡田 佳子 <i>yoshiko.okada</i> <i>@uec.ac.jp</i>	未来社会では、持続的な発展により豊かで安心なグローバル社会の実現が求められており、このための情報技術の貢献が強く期待されている。このような現代社会のニーズに応えるため、光工学の先端技術は、次世代光通信、高分解能計測・制御、高感度精密光センサー、次世代高速量子コンピューティングなどの基盤技術を支え、新しい技術開発を可能にする。新しい光科学・光技術の基盤となる光機能材料、光デバイス、光通信・情報処理に関連した基礎から応用を学ぶ。このことにより、省エネルギー、セキュリティ等の様々な点で従来技術の限界を非連続に解決し、社会的要請に応える高次な社会・産業インフラの形成への貢献を目指す。

Table of Contents

• Overview of Selection	12
• Admission Policy	12
1. Intake	13
2. Eligibility	13
3. Application Procedure	14
4. Selection	17
5. Entrance Procedure	18
6. Special Examination for Recipients of the MEXT Scholarship	18
7. Classes and Research Guidance for Working Adults	18
8. Consultation with Physically Challenged Applicants	19
9. Handling of Personal Information	19
10. Precautions	19
11. Research Advisor	20

Attachments

- (1) Application Form 入学志願票
- (2) Address Labels あて名票
- (3) Examination Admission Card 受験票 and Photograph Card 写真票
- (4) Request Form for Eligibility Check 出願資格認定申請書 (Only for the applicants who fall into 2. Eligibility (6) or (7))
- (5) Eligibility Check Form 出願資格認定審査調書 (Only for the applicants who fall into 2. Eligibility (6) or (7))

Contact Information

Admissions Office, Tokyo University of Foreign Studies (TUFS)
3-11-1 Asahi-cho, Fuchu-shi, Tokyo 183-8534, JAPAN
TEL: +81-(0)42-330-5179

Admissions Office, Tokyo University of Agriculture and Technology (TUAT)
2-24-16 Naka-cho, Koganei-shi, Tokyo 184-8588, JAPAN
TEL: +81-(0)42-388-7014

Admissions Office, The University of Electro-Communications (UEC)
1-5-1 Chofugaoka, Chofu-shi, Tokyo 182-8585, JAPAN
TEL: +81-(0)42-443-5102

Overview of Selection

The Joint Doctoral Program for Sustainability Research is a three-year doctoral program offered at Tokyo University of Foreign Studies (TUFS), Tokyo University of Agriculture and Technology (TUAT), and the University of Electro-Communications (UEC), as part of a cooperative initiative of the three universities.

The total program intake is eleven (three for TUFS, four for TUAT, and three for UEC). The Program welcomes not only master's students of TUFS, TUAT, and UEC, but also master's students in other academic fields, working adults, and international students.

Those who are interested in this Program are expected to apply through one of the three universities which must be the one to which their preferred research advisor belongs. Professors from all three universities will jointly supervise the enrolled students.

There are April and October admissions, and applicants are free to apply for both. Please be aware that the application period differs depending on the university.

Admission Policy

We seek Program applicants with the following qualities and abilities.

- Possess a passion to combat global problems of poverty, conflict, food and resources, energy and the environment, information and ICT, and motivated to play a role in global society in the future.
- Able to think logically and flexibly to conduct interdisciplinary and cross-sectoral research and to demonstrate the academic knowledge, expertise, and language skills required to conduct research.
- Able to adapt to various environments and diverse cultures; accepting of cultural values different from one's own; and equipped with the expertise, broad vision, ethical sensibility, and a resolute mind to play an active role in carrying out missions on a global scale.

1. Intake

Joint Doctoral Program for Sustainability Research	October Admission	April Admission	Total
Tokyo University of Foreign Studies (TUFS)	1	2	3
Tokyo University of Agriculture and Technology (TUAT)	2	2	4
The University of Electro-Communications (UEC)	2	2	4

2. Eligibility

Applicants must meet one of the following conditions:

- (1) Those who have obtained or are expected to obtain a master's or a professional degree
- (2) Those who have obtained or are expected to obtain a degree equivalent to a master's or a professional degree at an educational institution outside Japan
- (3) Those who have obtained or are expected to obtain a degree equivalent to a master's or a professional degree within Japan through correspondence courses offered by a foreign educational institution
- (4) Those who have completed or are expected to complete a course, which is recognized by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology – Japan (MEXT) to be equivalent to an postgraduate course in a foreign country, at a foreign educational institution in Japan (文部科学大臣指定外国大学(大学院相当)日本校) and have obtained or are expected to obtain a degree equivalent to a master's or a professional degree
- (5) Those who have completed or are expected to complete a course offered by the United Nations University and have obtained or are expected to obtain a degree equivalent to a master's degree
- (6) Those who have engaged in research at a university or a research institution for a minimum of two years after graduating from a university, and approved by the Graduate School based on their achievement as having the academic ability equivalent to or higher than a master's degree holder
- (7) Those who have been screened individually for eligibility and approved by the Graduate School and are aged 24 or older

※Eligibility (1) to (5) include persons who are expected to obtain a specified degree by the month of enrollment (April or October).

※Completion of a 6-year university course in medicine, dentistry, or pharmacology cannot be interpreted as completion of a Master's Program, and in no way secures eligibility to apply for this Doctoral Program.

※If you wish to apply under Eligibility (6) or (7), you need to request an individual eligibility check prior to your application. Please submit the following items to the Admissions Office of your university of choice at least one month before the first day of the Application Period.

- ① Request Form for Eligibility Check 入学資格認定申請書 (Form provided)
- ② Eligibility Check Form 入学試験出願資格認定審査調書 (Form provided)
- ③ A certificate of graduation and a transcript issued by the most recently attended school
- ④ Document(s) presenting research achievements
 - Eligibility (6)
An academic thesis, a research report, a research product such as a patent, etc.
 - Eligibility (7)
A work equivalent to a master's thesis

※We may request additional items

3. Application Procedure

Applicants must submit all the required application documents as one packet by the designated deadline to the Admissions Office of the university to which your preferred research advisor belongs.

An Examination Admission Card 受験票 will be given to the applicants whose applications have been accepted.

(1) Application Period

	2019 October Admission	2020 April Admission
TUFS	From Mar.1 to May.10, 2019	From Nov.18 to Nov.21, 2019
TUAT	From Jul.16 to Jul.19, 2019	【1st Phase】 From Jul.16 to Jul.19, 2019 【2nd Phase】 From Dec.2 to Dec.6, 2019 【3rd Phase】 From Feb.26 to Feb.28, 2020
UEC	From Jul.22 to Jul.26, 2019	【1st Phase】 From Jul.22 to Jul.26, 2019 【2nd Phase】 From Jan.7 to Jan.10, 2020

[Submit by Post]

Send your application packet by **registered post**. Write “Application for the Doctoral Program” in red on the envelope. Your application packet must arrive at the Admissions Office within the Application Period. Please refer to the page of Table of Contents for mailing address.

[Submit in Person]

Bring your application documents to the Admissions Office of your university of choice within the Application Period.

Hours: Weekdays, except for national holidays.

- TUFS 9:00-12:00 and 13:00-16:00
- TUAT 8:30-12:00 and 13:00-17:15
- UEC 9:00-11:30 and 13:30-17:00

(2) Application Documents

Items	Note
Application Form 入学志願票	Use the form provided. Fill out necessary information and paste a photograph (4cm long by 3cm wide, upper body, face front, no hat, and taken within three months before the application).
Examination Admission Card 受験票 and Photograph Card 写真票	
Transcript	Transcript and Certificate of (Expected) Graduation must be issued under the name of the graduate school president or dean. In case the original document is issued in a language other than Japanese or English, you must attach a Japanese or an English translation of the original.
Certificate of (Expected) Graduation	
Application Fee (JPY 30,000)	Make a payment to a designated bank account and submit a proof of application fee payment or a receipt. Please note that the following applicants are exempted from the application fee payment. (1) Recipients of the MEXT scholarship. Applicants must submit a certificate that confirms the receipt of the MEXT

	<p>scholarship.</p> <p>(2) Applicants who are currently enrolled in a Master's or Professional Program at either TUFS, TUAT or UEC, who are expected to graduate in March 2020 (September 2019) 2019, and who wish to continue to the Doctoral Program at the same university through the entrance examination for April 2020 (October 2019) admission.</p> <p>【Designated Bank Account】</p> <p>【TUFS】 Bank: Sumitomo Mitsui Banking Corporation (Bank code: 0009) Branch: Tokyo Daiichi Branch (Branch code: 931) Bank Address: 1-41 Miya-machi, Fuchu-shi, Tokyo 183-0023 JAPAN Swift Code: SMBCJPJT Account #: 9796093 Account type: Regular savings account Name: Tokyo University of Foreign Studies University Address: 3-11-1 Asahi-cho, Fuchu-shi, Tokyo 183-8534, JAPAN</p> <p>Make the payment in JPY. The transferred amount that the university receives must be the amount of the Application Fee. If the payment cannot be made in JPY, payment in USD will be accepted; the transferred amount must be equivalent to the amount of the Application Fee in JPY.</p> <p><u>*The handling charge for payment must be borne by applicants.</u> Please note that an application cannot be accepted if the amount received is below the Application Fee.</p> <p>*For those making payment in USD, note that the amount in excess of the JPY fee cannot be returned.</p> <p>— — — — —</p> <p>【TUAT】 To make a domestic bank transfer, refer to page 4 (in Japanese). To make an overseas remittance, consult with the Admissions Office in advance.</p> <p>— — — — —</p> <p>【UEC】 To make a domestic bank transfer, refer to page 4 (in Japanese). To make an overseas remittance, consult with the Admissions Office in advance.</p>
Address Labels あて名票	<p>On the provided three Address Labels あて名票, write down your postal code, address (within Japan), and name where we can ensure the delivery of various documents, including a Notice of Acceptance.</p> <p>*Applicants who reside outside Japan must designate a representative who resides in Japan and must provide the representative's address on the Address Labels あて名票 and write their name in parentheses alongside the representative's name.</p>

Self-addressed Envelope	<p>This is applicable only if you are submitting your application by post. Your Examination Admission Card 受験票 will be sent by Japanese registered post in this self-addressed envelope.</p> <p>On the envelope sized 長形 3 号 (23.5cm long by 12cm wide), write down your postal code, address (within Japan), and name where we can ensure the delivery, and affix JPY 392 worth of stamps.</p> <p>*Applicants who reside outside Japan must designate a representative who resides in Japan and must provide the representative's address on the envelope and write their name in parentheses alongside the representative's name.</p>
English Proficiency Test Score Report	<p>Applicants whose native language or educational language is not English are required to submit a score report (or a passing certificate) for one of the English tests listed below. A copy of the original report (certificate) is acceptable. The test must be taken within the last three years (after April 2016).</p> <p>(※ If you are unsure whether or not your native language / medium of education is/was English, please contact the admissions office of the university you are applying for.)</p> <p>TOEIC, TOEFL, Cambridge English, IELTS, etc.</p>
Personal Statement (5 copies)	<p>Use A4 size paper and keep the word count within 1,000 characters in Japanese or 250 words in English. Attach a front page on which the program you are applying for, the title of your research, and your name are written.</p>
Research Proposal (5 copies)	<p>Use A4 size paper and keep the word count within 2,000 characters in Japanese or 500 words in English. Attach a front page on which the program you are applying for, the title of your research, and your name are written.</p>
Thesis Abstract (5 copies)	<p>Submit an abstract of either a master's thesis, research findings or achievement. Use A4 size paper and keep the word count within 2,000 characters in Japanese or 500 words in English. Attach a front page on which the program you are applying for, the title of your research, and your name are written.</p>

※Applicants must contact their preferred research advisor prior to their application.

※Successful applicants who will continue to work or be enrolled in another school must submit a “Letter of Approval to be Enrolled in the Doctoral Program” issued by their employer or school president in any form of paper during the Entrance Procedure.

※Please note that international students are required to submit a copy of their passport (or a copy of their residence card if residing in Japan) during the Entrance Procedure to show their visa status.

4. Selection

Selection will be made based on the submitted documents and the results of the entrance examination (Presentation and Interview).

(1) Entrance Examination (Presentation and Interview)

	2019 October Admission	2020 April Admission
TUFS	Mid-June 2019	Jan.25 or Jan.26, 2020
TUAT	August.19,2019※	【1st Phase】 Aug.19, 2019※ 【2nd Phase】 Dec.17, 2019 【3rd Phase】 Mar.10, 2020
UEC	August.19,2019	【1st Phase】 Aug.19, 2019※ 【2nd Phase】 Feb.3 2020

※Entrance Examination (Presentation and Interview) on August 19th, 2019 may be a joint test at either TUAT or UEC.

Time and place of the entrance examination will be announced after application is closed.

In the entrance examination, applicants are asked to make a 15-minute presentation in English about their research and study plan. Please bring 5 copies of your presentation materials prepared in English (e.g., printouts of PowerPoint).

After the presentation, an interview will be held in English and Japanese based on the submitted personal statement, research proposal, and thesis.

Applicants are allowed to bring and use a laptop and/or a tablet for the presentation. Devices such as a projector, screen, and basic cables (HDMI, D-sub 15 pin, etc.) are available at each university.

(2) Announcement of Results

The results will be announced on the bulletin board and the website.

Notice of Acceptance will be sent to successful applicants by Japanese registered post to the address indicated on the Address Labels **あて名票**.

	2019 October Admission	2020 April Admission
TUFS	Late June 2019	Feb.14, 2020
TUAT	Sep.6,2019	【1st Phase】 Sep.6, 2019 【2nd Phase】 Jan.20, 2020 【3rd Phase】 Mar.20, 2020
UEC	Sep.10,2019	【1st Phase】 Sep.10, 2019 【2nd Phase】 Feb.26, 2020

5. Entrance Procedure

(1) Period for the Entrance Procedure

Successful applicants who fail to complete the Entrance Procedure during the designated period will not be allowed to matriculate.

	2019 October Admission	2020 April Admission
TUFS	Late July 2019	From Mar.26 to Mar.27, 2020
TUAT	Sep.12,2019	【1st Phase】 Mar.16, 2020 【2nd Phase】 Mar.16, 2020 【3rd Phase】 Mar.27, 2020
UEC	Sep.24,2019	From Mar.26 to Mar.27, 2020

(2) Admission Fee

JPY 282,000

Please note that the following applicants are exempted from the application fee payment.

(1) Recipients of the MEXT scholarship

(2) Applicants who are currently enrolled in a Master's or Professional Program at either TUFS, TUAT or UEC, who are expected to graduate in March 2020(September 2019), and who are scheduled to enter the Doctoral Program at the same university upon successfully passing the entrance examination for April 2020 (October 2019) admission.

- Details on the Entrance Procedure will be announced to each successful applicant.
- The tuition fee is JPY 535,800 per academic year. Successful applicants who are scheduled to be granted the MEXT scholarship after admission are exempted from payment of the tuition fee.
- If the tuition is revised at the time of enrollment or during the academic year, the new tuition will be charged.
- Successful applicants are required to make a payment for the Personal Accident Insurance for Students Pursuing Education and Research (PAS) and other miscellaneous fees, in addition to the admission fee, during the Entrance Procedure.

6. Special Examination for Recipients of the MEXT scholarship

Arrangements for an internet video call for the entrance examination can be made for applicants who are recipients of the MEXT scholarship and who reside outside Japan at the time of the examination. This arrangement is also available for applicants who are in the selection of the MEXT scholarship at the time of the examination.

The examination is conducted in English.

There is some flexibility to extend the entrance procedure period for successful applicants who reside outside Japan and who submit a Pledge of Entrance during that period promising they will enroll in the Program.

7. Classes and Research Guidance for Working Adults

(1) Duration of Study

While the standard duration of study for this Program is three years, to promote a favorable academic environment for working adults, a special provision to extend the study period beyond three years may be granted so long as the extended period does not exceed twice the period of the regular duration of study.

(2) Academic and Research Guidance

When considered necessary, special arrangements can be made, such as holding classes and research guidance sessions in the evening, changing times or durations, etc., pursuant to the special measures in Article 14 of the Standards for the Establishment of Graduate Schools.

8. Consultation with Physically Challenged Applicants
Applicants with a disability or developmental disorder, as specified in Article 22, Clause 3 of the Order for Enforcement of the School Education Act of Japan, who need special adjustment and support in accordance with the degree of their difficulty during the examination and after being admitted to the university must consult with the Admissions Office prior to their application.
In case an applicant has become in need of such care after the deadline, contact the Admissions Office by phone immediately. (See “Contact Information” on the page of Table of Contents.)
9. Handling of Personal Information
In accordance with the “Act on Protection of Personal Information held by Incorporated Administrative Agencies, etc.” and the regulations on personal information protection set by each university, we handle personal information submitted by applicants at the time of application, such as an applicant’s name, address, phone number, academic grades, and test scores, as follows:
- Information provided by the applicants is used only for the purpose related to selection, admission, and enrollment.
 - Information of successful applicants who have completed the Entrance Procedure is used only for the purpose related to educational matters (e.g., creating a student registry), student affairs, and collecting tuitions.
 - Information obtained through the entrance examination will be used in statistical analysis of examination results, and in research on admission methods.
10. Precautions
- (1) Application fee is not refundable once application has been accepted. Documents will not be returned once application has been accepted
 - (2) If the information submitted is detected to be false or does not include facts that must be presented to us, we have all the right to cancel the applicant’s matriculation even after they gave completed the Entrance Procedure.
 - (3) A successful applicant who, after completing the Entrance Procedure, decides not to enroll in the Program, must submit a Request Form for Withdrawal from Enrollment to the Admissions Office by the last day of the month before the month of enrollment (weekdays only). If they fail to submit the request form by the deadline, they will be registered in our university system, be required to make a tuition payment, and may be subject to face other problems. Make sure to submit the request form as soon as possible.
 - (4) If there is a lack in overall intake after the Entrance Procedure, we may select additional successful applicants or may conduct another selection.

11. Research Advisor

Below are the research advisors for this Program. Applicants must apply through the university to which their preferred research advisor belongs.

Tokyo University of Foreign Studies		
Field of Study	Name	Research Contents
Area Studies	Shinichi TAKEUCHI <i>shinichi_takeuchi</i> <i>@tufs.ac.jp</i>	Shinichi Takeuchi specializes in African studies, particularly in themes such as politics, development, peace-building, and international conflict. In this course, he will provide lectures and seminars aiming at building a capacity to analyze contemporary issues using systematic methods. Students are required to conduct critical analyses of methodologies including international politics, comparative politics, and social anthropology. In addition, current global issues of sustainable development, state-building, conflict resolution, and peace-building will be analyzed in the classes through specific case-studies for the purpose of fostering capabilities to deal with contemporary challenges.
Global Studies	Chikako NAKAYAMA <i>nakac</i> <i>@tufs.ac.jp</i>	Chikako Nakayama specializes in economic and social thought, focusing mainly in German-speaking countries since the 20 th century, when the balance among politics, economy, and society, and the relation between society and science were fundamentally questioned in the midst of globalization. She will provide lectures and seminars on global studies, analyzing the foundation of sciences with perspectives of social science and humanities, and dealing with global and human economy through the analysis of structures and actors of our contemporary world, such as nation-states, international relations, regions and communities, and NGOs. Sustainable development is an important subject of education and research. She will introduce students to logical and ideological approaches to realize diverse, spontaneous, and sustainable development.
Cultural Studies	Hyoduk LEE <i>hdlee</i> <i>@tufs.ac.jp</i>	Hyoduk Lee specializes in Cultural Studies, particularly in themes such as racism, nationalism, post-colonialism and cultural representation. In this course, he will provide lectures and seminars aiming at building a capacity to analyze contemporary issues using systematic methods. Students are required to conduct critical analyses of methodologies including gender, class, and racial-ethnic relations. In addition, current global issues of immigrants, refugees and asylum seekers will be analyzed in the classes through specific case-studies to understand contemporary human rights theory.

Tokyo University of Agriculture and Technology		
Field of Study	Name	Research Contents
Biomedical Engineering	Kazuhiko MISAWA <i>kmisawa</i> <i>@cc.tuat.ac.jp</i>	To realize qualitative improvement of life, home medical care, and patient welfare, the demand for progress and innovation in medical diagnosis and treatment is increasing every year. Engineering technology (e.g., electronics) in close collaboration with biology and medicine plays a key role in the latest advances in diagnosis/treatment. Based on “ultrafast optical science,” my group conducts comprehensive research and development ranging from basic to applied research in biomedical engineering systems. The purpose of this approach is to develop high-quality diagnostic and treatment options for future generations, leading to the creation of new industrial fields.
Energy Science	Hiroko KATORI <i>h-katori</i> <i>@cc.tuat.ac.jp</i>	It is necessary to explore complex issues such as securing energy resources and conserving the environment from the perspective of comprehensive fields, not just the field of engineering. Also, in order to propose new technology that leads to the creation of new industries, we need to break down these complicated problems into each element (systems approach) and look at them from a broad angle. The method to clarify the mechanism of the phase transitions in magnetic materials is similar to the method to solve complicated problems related to energy. To realize a sustainable society using the knowledge of magnetic materials and the research methods acquired from the magnetic phase transition study, we will work on energy-related issues. Topics discussed in classes include “Proposal of energy problem solving methods using new principles,” “Realization of energy conversion technology using new methods,” and “Development of energy-efficient and environment-friendly production process.”
International Agricultural Development	Atsushi CHITOSE <i>chitose</i> <i>@cc.tuat.ac.jp</i>	Agriculture plays an important role in enhancing economic development, food security and poverty reduction in developing countries. Creating policies for effective food supply, agricultural development, and rural area development requires a thorough understanding of historical, cultural, institutional, social, economic and environmental issues underlying the agriculture and rural livelihoods of developing countries. Provided with this perception, we explore the current situations and challenges in agriculture and rural livelihoods as well as the behavior of relevant stakeholders in developing countries. Students are required to proceed with their research from an economic perspective, paying due attention to the fact that poverty, food insecurity, economic performance, resource and energy issues, and environmental problems are all interrelated in a society.
Biological Resources Functional Chemistry	Yoshihiro NOMURA <i>ny318</i> <i>@cc.tuat.ac.jp</i>	A high value-added strategy that capitalizes on the use of biological functionality of agricultural products will play an important role in contributing to agricultural development and increases in farm income. Also, the promotion of an effective use of the unused biological parts that used to be discarded is considered as another possible strategy to raise farm income. These development strategies are assumed to work effectively in developing countries because they are endowed with abundant biological resources. Given the needs of developing countries in modern society, we conduct advanced research for the development of new applications through utilizing the unused biological resources and reusing the used biological resources. Students are required to conduct their research relying on the chemical analysis of functional elements in agricultural and fishery resources, and further identifying challenges and finding solutions for new product innovation by capitalizing on specific biological functionality.

The University of Electro-Communications		
Field of Study	Name	Research Contents
Social Systems Engineering	Kayoko YAMAMOTO <i>kayoko.yamamoto@uec.ac.jp</i>	One of the critical global goals is to create and maintain a safe and prosperous society, and it is urgent to achieve resources development on a global scale and to solve environmental problems such as abnormal climate and disasters in both developed and developing countries. In order to tackle such issues, it is necessary to develop the methods that can utilize a wide variety of information and design a new social system to achieve the global goals. To that end, it is essential to learn various kinds of analytical methods, that are capable of processing big data for the analysis of survey results, including geospatial information, mathematical models, algorithms and computer technology, and statistical techniques. By taking a new approach, we will aim to solve global issues and contribute to creating a safe and secure society.
Computer Science, Informatics/ Telecommunications Engineering	Tomonori HASHIYAMA <i>hashiyama.tomonori@uec.ac.jp</i>	The development of computer and network technologies has enhanced the quality of our daily life. Various kinds of interconnected electronic devices will be an important part of the prospective society called "society 5.0." The aim of our research projects includes further development of Artificial Intelligence to enable human intelligence to acquire a better understanding of the connected world. Keywords: Intelligent Systems, Human-Computer-Interaction, Society 5.0, Artificial Intelligence, Machine Learning, Internet of Things
Measurement /Control Engineering	Hiroshi YOKOI <i>yokoi@mce.uec.ac.jp</i>	It is inevitable to solve a broad range of problems caused by aging and poverty and create a comfortable living environment for every one of us. High-performance intelligent functions and automation based on the development of mechatronics, medical engineering, and measurement/control technology are rapidly being developed and further enhanced in the area of transportation, aerospace, medical care, and various other fields. Measurement and control technology emerged from transverse engineering. It is structured by input, output, and functions of objectives and enables us to grasp (analyze, recognize, and optimize) the connection of objectives as a system. In order to respond to the needs of modern society, we offer research and education opportunities in mechatronics and medical engineering. This enables the students to systematically understand human characteristics and functions such as sensation/perception and movement. We will aim to create a society in which robots and human beings live in harmony and improve and support lives of elderly and physically challenged people.
Optoelectronics	Yoshiko OKADA-SHUDO <i>yoshiko.okada@uec.ac.jp</i>	Advanced optical engineering will help to achieve a prosperous and secure global society through sustainable development by supporting and developing basic and novel technologies such as next-generation optical communication, high resolution measurement control systems, sensitive precision optical sensor, and next-generation high-speed quantum computing. Students will acquire basic knowledge and application skills related to optical functional materials, optical devices, optical communication and information processing, which form the basis for future optical science and optical technologies. In this course, we will aim to gain the ability to solve various issues in conventional technologies from energy saving to security and create higher social and industrial infrastructures that are needed in society.